

市営住宅で立て続けに2件の孤独死が起きました。2件とも支援未介入の独居高齢者でした。この市営住宅は、築45年、5階建て6棟、全180世帯が住んでいます。建設当初は最先端の生活様式を取り入れた造りで若い夫婦などには人気の住宅だったそうで、高い入居率を勝ち抜いて入居してきている方ばかりだそうです。現在は、住民の平均年齢は70歳を超えており、約3分の1世帯にあたる58世帯が独居高齢者です。その他も全て高齢者のみの世帯になっています。建設当初からの入居者は今でも付き合いがありますが、後から入居したほとんどの人が近所付き合いがない状態になっています。住民のほとんどが高齢者であるこの市営住宅では孤独死が起きたことで住民を中心に『また起きるのではないか』、『いつかは自分も…』と不安が広がっています。

地域の不安を放置したら、どうなると思いますか？
できる限りの想定をしてください。

現状分析

※対象地域の現状、数値的データ等

地域課題

※地域における個別課題

必要な取組

※ネットワーク構築の取組み

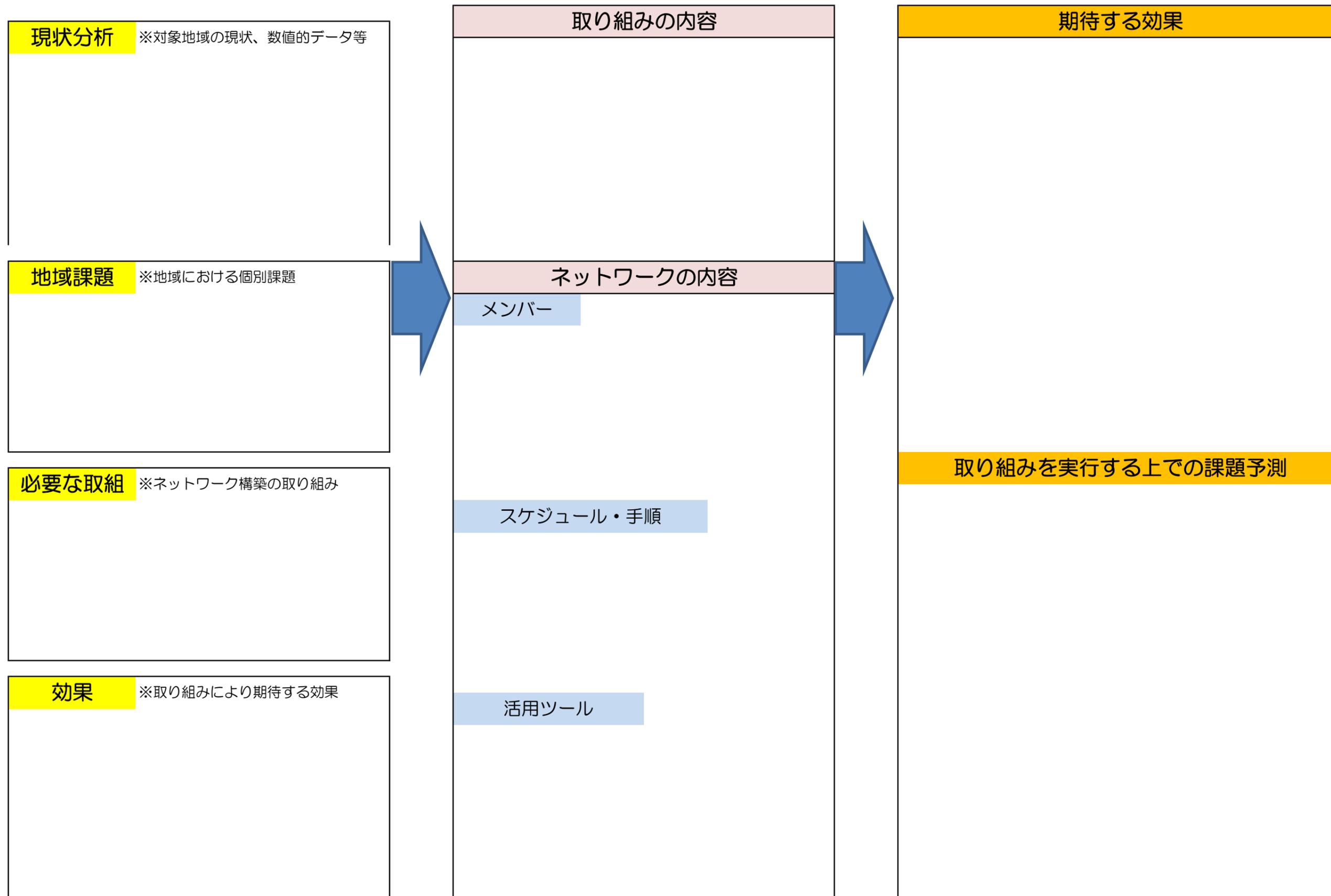
効果

※取組みにより期待する効果

演習シート③ ◆安心して暮らせるまちづくりのための取り組みを考えよう◆

() グループ

オンライン研修2日目使用



演習シート④ネットワーク構築のための企画 オンライン研修2日目使用

【ネットワーク構築の5W2H】

Why. なぜネットワークが必要なのか（目的）
Who. そのために誰が、誰に声をかけるのか
Where. どこで（どの圏域で）つくるのか
When. いつまでにつくるのか
What. 何をテーマにしていくのか
How. どうやって運営していくのか
How much. 必要な経費はどうするのか

●Why（何のために：会議の目的）

●Who（誰が：会議の参加メンバー、誰が誰に声をかけるのか）

●Where（どこで：会議の会場はどこにするか）

●When（いつ：会議開催の時期、準備スケジュール、開催頻度など）

●What（何を：会議の具体的なテーマ、議題など）

●How（どうやって：当日の会議の運営方法、工夫することなど）

●How much（必要な経費：会議開催の予算・費用、準備するもの）

◆事例概要◆

Aさん、75歳 女性、独居。夫は他界、子供は二人（長男、次男：県外在住）。Aさんは自宅で倒れていたところを回覧版を持参した近所の人に発見され、救急搬送。原因は脱水でそのまま入院。状態も回復し、そろそろ退院となるころです。変形性膝関節症があり、杖歩行ですが、室内でのADLはほぼ自立できています。その他に大きな病気はありませんが、高血圧で内服治療中です。入院当初から、病室を間違えたり、トイレの場所がわからなくなるなど、物忘れが目立ち、認知症が疑われる状態です。民生委員さんからの情報では、薬局に何度も湿布薬をもらいに行き、言ったことを忘れるAさんに困惑していることや、消費者被害に遭ったこともあるとの情報もあります。入院の原因である脱水については、主治医より『低栄養状態でもあり、食事もきちんととっていないのではないか、退院後は食生活も心配』とされています。Aさんの住む地域は、若者向けのマンションや一戸建て住宅が次々と建設され、乳幼児を抱える若い世帯が多くなっているようです。その一方で、Aさんの家の周辺は、30年前に建てられた古い分譲住宅で高齢者ばかりの地域となっています。Aさんは長くこの地域に住んでおり、なじみの関係で近所付き合いも良好です。

●Aさんの生活課題を考えましょう。

●地域ケア会議の開催にあたり、出席を求める人をリストアップしましょう。

●地域ケア会議話し合う内容を整理しましょう。

No	課題	目標	何を・どのように	担当者	期日